

2025
年度

福岡県
地域住民向け

認知症映画上映会

認知症の母と耳の遠い父と離れて暮らす私

ぼけますから、



ドキュメンタリー映画

よろしくお願ひします。

広島県呉市。泣きながら撮った1200日の記録

相談ブース・
VR体験イベント

認知症に関する
相談ブースを設置します
13:00~16:00

認知症ケア支援
トレーニング VR体験
13:00~16:00

写真撮影、録画、録音は
禁止とさせていただきます。

監督・撮影・語り

ひとり娘

信友直子

令和
7年 8月30日 土

先着 午前・午後それぞれ 50名様

時間：午前の部／10:00~12:00(受付9:30~)
午後の部／13:30~15:30(受付13:00~)
会場：医療法人光風会 宗像病院
要予約：裏面に必要事項をご記入の上、FAX
またはTELにてお申込み下さい。

参加費
無料

主催・お問い合わせ先

医療法人光風会 宗像病院 福岡県認知症医療センター

〒811-3414 福岡県宗像市光岡130番地 TEL：0940-36-2775 FAX：0940-37-0692

* お車でお越しの際は、敷地内の案内表示に従って駐車してください *



港町を向けて 初めての気づいた。 両親がお互いを思い合っているということ。

母、87歳、認知症。
 父、95歳、初めての家事。

広島県呉市。この街で生まれ育った「私」(監督・信友直子)は、ドキュメンタリー制作に携わるテレビディレクター。18歳で大学進学のために上京して以来、40年近く東京暮らしを続けている。結婚もせず仕事に没頭するひとり娘を、両親は遠くから静かに見守っている。

そんな「私」に45歳の時、乳がんが見つかる。めそめそしてばかりの娘を、ユーモアたっぷりの愛情で支える母。母の助けで人生最大の危機を乗り越えた「私」は、父と母の記録を撮り始める。だが、ファイナダーを通し、「私」は少しずつ母の変化に気づき始めた…

病気に直面し苦悩する母。95歳で初めてリンゴの皮をむく父。仕事を捨て実家に

帰る決心がつかず揺れる「私」に父は言う。「(介護は)わしがやる。あんたはあんたの仕事をせい」。そして「私」は、両親の記録を撮ることが自分の使命だと思い始め—

大反響のテレビドキュメンタリー、待望の映画化。

娘である「私」の視点から、認知症の患者を抱えた家族の内側を丹念に描いたドキュメンタリー。2016年9月にフジテレビ/関西テレビ「Mr.サンデー」で2週にわたり特集され、大反響を呼んだ。その後、継続取材を行い、2017年10月にBSフジで放送されると、視聴者から再放送の希望が殺到。本作は、その番組をもとに、追加取材と再編集を行った完全版である。娘として手をさしのべつつも、制作者としてのまなざしを愛する両親にまっすぐに向けた意欲作。



港町呉は坂の多い町でもあります。買い物するにも一苦勞。結婚以来、父と母はずっとここで暮らしてきました。



ひとり娘
ドキュメンタリー監督
信友直子

1961年広島県呉市生まれ。東京大学卒業。在京キー局で数多くのドキュメンタリー番組を手掛ける。放送文化基金奨励賞、ニューヨークフェスティバル銀賞、ギャラクシー賞奨励賞など受賞多数。

参加申込書

2025年度 福岡県地域住民向け 認知症映画上映会

※定員になり次第締め切らせていただきます。記入漏れのないよう、よろしくお願いいたします。

※下記項目をご記入の上、下記FAX番号にてお申し込み下さい。

FAX: 0940-37-0692

お名前		参加人数	名
電話番号		ご希望の上映時間	午前・午後

お電話でも予約を受け付けております。

TEL: 0940-36-2775

申込期限

8月28日(木)